



# Fondation Qualité Fleurier

La haute horlogerie certifiée

100% スイス国内で製造

技術と審美性に関する基準

COSC クロノメーターテスト

クロノフィアブル持続性テスト

装着精度フルリテスト





## 絶対的な品質の保証

時計業界には、「ハイエンドウォッチ」「貴重な」「高級な」「ラグジュアリー」といった形容の仕方がありますが、これらは厳密な定義でも、全員一致で承認されるものでもありません。

確かに、エンドユーザーに情報を与えまた安心させる、明確に定義され厳正さを持って行われる時計に関するテストはあります。しかし、高額金と引き換えに特別なタイムピースを手に入れるお客様が抱くすべての期待に応えるものではありません。

この状況はお客様に混乱をもたらし、いずれは昔ながらの伝統時計製造の土地で私たちが大事にしてきた高品質の時計製造への評価の障害になってしまいます。

この現状において、カリテフルリエ財団は、お客様が購入される時計に下記の要素を保証するため、厳しい品質基準すべてをひとつの認証ラベルに集めるという大きな野望を掲げました。

- 100%スイス製
- あらゆる状況下で確保された精度
- 証明された信頼性と持続性
- 仕上げの芸術的な審美性

## 独立性の保証

カリテフルリエ財団は、スイス連邦 (SECO)、ヌーシャテル州、ヴァル・ド・トラヴェール市、ヴァル・ド・トラヴェール地域協会といった行政官庁、フィリップ・ジェキエ財団、フルリエと繋がりのあるブランドのボヴェ・フルリエ社、ショパール・マニファクチュール社、パルミジャーニ・フルリエ社、ヴォーシェ・マニファクチュール・フルリエ社から支持されています。

## 100%スイス国内で製造

認証は、依頼をし条件を満たすスイスのブランドのみを受け入れています。

## 明確な規定、歴史的な正当性

認証手順は、参加ブランドから独立した技術委員会の統制下で客観的に執り行われます。

技術委員会と財団理事会の決定に対する、異議申し立ての権利 (調停機関) は保証されています。

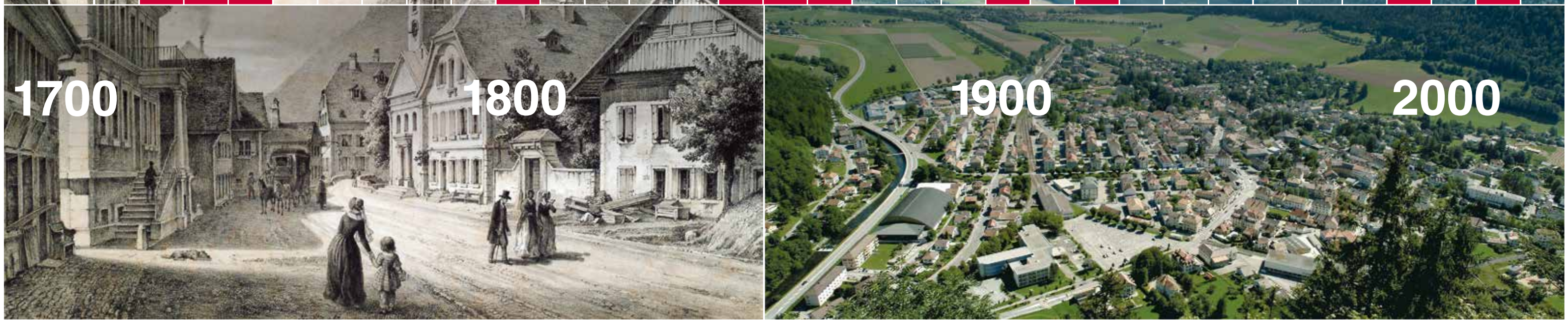
続くページでは、カリテフルリエ財団が大切にしている時計製造の伝統、認証とロゴ押印権利までの様々な段階をご紹介します。

FQF  
La haute horlogerie certifiée





フルリエの時計産業  
代表的な出来事



- 1730年**   ダヴィッド-ジャン-ジャック-アンリ・ヴォーシェによりフルリエに時計製造が伝わる。
- 1750年**   15名の時計師(人口の約3.5%)
- 1794年**   時計製造に関わる人が人口の13%以上、797名の住人中106名
- 1820年**   エドゥアール・ボヴェとその兄弟が中国向けキャリバーの製造により時計貿易に飛躍的な発展をもたらし、中国における時計輸入をほぼ独占する。  
  
その後、ヴォーシェ兄弟社(1848)といった他のフルリエの時計製造会社も彼らに追随する。  
  
ビュット村のエドゥアール・ジュヴェは、1844年より彼の工房をフルリエに移し、ディミエ兄弟はジュネーブから移り住む。
- 1822年**   エドゥアール・ボヴェは彼の兄弟アルフォンス、フレデリック、ギュスターヴと中国での時計産業を目指すパートナーシップを築き、メゾン・ボヴェが公式に創立される。
- 1830年**   《中国の邸宅》と称されたボヴェ本社がフルリエに建設され、この建物は1905年には村役場となり、カリテフルリエ財団も現在この中に本部を構える。
- 1851年**   フルリエで初めての時計学校が開校される。
- 1872年**   人口の23%にあたる600名以上が時計製造に従事する。
- 1887年**   中国、エジプト、トルコ、イギリス、スペイン、フランスを主要市場とし、フルリエで約30の時計製造会社が634名を雇用する。
- 1905年**   フルリエはヴァル・ド・トラヴェール地方で時計生産におけるの中心地となり、19世紀後半に人口が倍になる。
- 1920年**   フルリエ出身のシャルル-エドゥアール・ギヨームが、鉄とニッケルの合金研究でノーベル物理学賞を受賞する。彼はインバーとエリンパーの発明者で、これらの合金は後に主ゼンマイやヘアスプリングの製造に使用される。
- 1940年**   1930年代の経済危機後フルリエにはフルリエ・ウォッチ・カンパニー、ボヴェ兄弟会社、ヌマジヤナン社といった8つの時計製造会社が残る。他のいくつかの工場はエボーシュ、

- 針、文字盤、ガラス、ばねなどの製造をする。
- 1975年**   ミシェル・パルミジャーニがパルミジャーニ・ムジュール・エ・アール・デュ・タン社を設立する。
- 1989年**   ボヴェ・フルリエ社としてボヴェブランドがよみがえる。
- 1996年**   フルリエにショパール・マニファクチュール社が設立され、パルミジャーニ・フルリエのブランドが発足する。
- 2001年**   高級時計製造における最上の原理に基づいた時計設計の技術的および審美的品質基準を確立するため、カリテフルリエ財団が設立される。
- 2003年**   パルミジャーニ・ムジュール・エ・アール・デュ・タン社が分かれ、ヴォーシェ・マニファクチュール・フルリエ社とパルミジャーニ・フルリエ社が設立される。
- 2004年**   カリテフルリエ財団の検定方法を公式発表する。
- 2006年**   ボヴェ・フルリエ社は基礎部分が14世紀に遡るモティエ村のシャトーを買い取り、そこに彼らの工房を設置する。
- 2008年**   ショパール・グループが機械式ムーブメント製造に特化するフルリエ・エボーシュ社を設立する。
- 2012年**   スイス国内で100%製造という追加/補足の基準を採用する。
- 2014年**   **FQF**(カリテフルリエ財団)設立10周年**FQF**研究所を開設。
- 2015年**   ヴァル・ド・トラヴェール出身のマスターウォッチメーカーの精神を表現するクロノメトリー・フェルディナント・ベルトゥを発売。

近年は経済状況により600名から800名がフルリエで時計産業に従事し、1500名が周辺地域で時計産業やその関連分野に従事しています。ボヴェ・フルリエ社、ショパール・マニファクチュール社、パルミジャーニ・フルリエ社、ヴォーシェ・マニファクチュール・フルリエ社などのマニファクチュールやブランドとカリテフルリエ財団認証ラベルの存在により、フルリエはスイス高品質時計製造の重要な中心地です。



1



## スイス国内で100%製造

構想・設計、製造、組み立て、時計本体と構成部品の検査のすべての工程が、スイス国内で行われているということを保証します。

«Qualité Fleurier» (カリテフルリエ)の証が印される以外に、この認証ラベルを取得するタイムピースは «manufacturée 100% en Suisse» (スイス国内で100%製造)を記載することができます。

2



## ムーブメントはエクスクルーシブな 審美的仕上げの品質を満たす

仕様条件書により部品の仕上げや装飾のレベルは定義され、研究、教育、製造の専門家たちからなるエキスパートのグループにより決定されました。これに準ずるためには、組み立て前の分解した状態での時計機構の構成部品の事前検査が必要となります。

全般的な原則は次の通りです。

### 素材

金属または技術セラミック、貴重または前衛的な素材を使用していること。プラスチック素材の使用は禁止。

### エクスクルーシブな仕上げ

装飾は地板の最大の厚み、受けの可視部分、主要な凹部分で見えること。バリは完全に除去され、スチール部品の機能的部分は研磨される必要がある。目に見える部品は、技術的に可能な限り表面、側面、面取り部分が装飾されること。

### 手段

装飾をするためには、製造手段は機械的でも手作業でもよいが、部品をまとめて作業する方法は認められない。

3



## ムーブメントはCOSC認証済み

ムーブメントは、ISO規格-3159によるすべてのテストが課される。カリテフルリエ認証を受けるすべてのムーブメントは、このCOSC(スイス公式クロノメーター検定局)のテストに合格していなければならない。

4

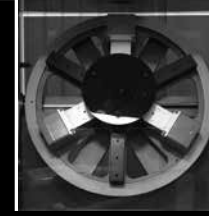


## 時計はクロノフィアブル・テストに合格

クロノフィアブル・テストは下記の様々な段階からなります。

- 老化サイクル
- 巻き芯上の引き・押しの力を測定するサイクルテスト
- プッシュボタン(クロノグラフ、コレクターなど)と回転式ベゼル上にかかる力を測定するサイクルテスト
- 磁場テスト
- 繊細な複雑時計以外は、極めて大きな衝撃をかけるテスト
- 防水性テスト

5



## フルリテストのシミュレーターにより 完成した時計の歩度を実証

最終的な外装の状態の時計は、最後のテストであるフルリテストのロボットシミュレーターにかけられます。これは、活動的、極めて活動的、落ち着いた状況が混在する一昼夜のサイクルの動作を再現する24時間にわたる機能テストです。デジタルカメラの人工視覚システムにより、歩度の変化が分析されます。

完全なコンピューター操作で、GPSにより連動され、この機械は時計の将来のオーナーがするように、しかし高い精度を持って時間を観察します。

テストされた時計の精度は、日差0秒から+5秒内に入らなければなりません。

テストに合格すれば、それぞれのタイムピースのムーブメントとケースに入った個別番号が記載された認定証が発行されます。

こうして、時計はカリテフルリエ認定モデルとなります。

FQF  
La haute horlogerie certifiée





カリテフルリエ財団は、フルリエ村役場の建物内に本部を構えています。

**Rue du Temple 8**  
**CH-2114 Fleurier.**  
電話: **+41 32 861 47 00**  
ファックス: **+41 32 861 47 01**  
Eメール: **info@fqf.ch**

認証テストに適用される約款は、最新版を財団のサイトで  
ご覧いただけます。

**[www.fqf.ch](http://www.fqf.ch)**